

経過を追って考える

輸液の

処方・調整のコツ

＼いつやめる？どう調整する？／

チェックするポイントとタイミングを押さえて、
「何となく」の処方を見直そう

序	寺下真帆	3	(157)
---	------	---	-------

第1章 輸液療法のエッセンス

1. 輸液に必要な体液の考え方	山口 真	10	(164)
1. 体内水分の分布について 2. 体内の水は、各コンパートメント間を移動している 3. 体液・水・電解質バランスの調整			
2. 体液量と輸液反応性の評価方法	廣瀬知人	17	(171)
1. 体液量の評価 2. 輸液反応性の評価 3. 各セッティングごとの評価と対応			
3. 輸液製剤	普久原智里	25	(179)
1. 輸液製剤の基本 2. 体液コンパートメント間の分布 3. 輸液製剤の種類 4. 実際の処方			

4. 輸液のはじめ方と終わり方寺下真帆 33 (187)

1. 輸液を開始するとき 2. 急性期における輸液の4段階 3. 輸液を終了するとき

5. 輸液の投与ルート

末梢静脈or中心静脈立森良崇 40 (194)

1. 末梢静脈ルート 2. 中心静脈ルート ● Advanced Lecture : PICCについて

6. 栄養輸液町田慎治 47 (201)

ステップ1. 栄養アセスメント ステップ2. 栄養投与経路の選択 ステップ3. 輸液内容の決定
ステップ4. モニタリング

7. 輸液の弊害

過ぎたるは及ばざるが如し吉留 愛, 谷澤雅彦 54 (208)

1. 輸液の処方 2. 輸液は低侵襲な治療? 3. 輸液のゴールとは 4. 輸液による弊害

第2章 病態・疾患ごとの輸液の処方・調整・終了

1. 敗血症への輸液森田吉則 62 (216)

敗血症の輸液の考え方 症例1. 肺炎に伴う敗血症性ショック

症例2. 心筋梗塞既往のある患者の敗血症 ● Advanced Lecture : Optimization期の輸液管理

2. 心不全の輸液鈴木 翔 70 (224)

心不全の輸液の考え方 症例1. 輸液を必要としない心不全 症例2. 輸液を必要とする心不全

3. 呼吸不全の輸液片岡 悠 79 (233)

症例1. 急性呼吸窮迫症候群 (ARDS) ● Advanced Lecture : 症例2. COPDによる肺性心

4. 高血糖緊急症の輸液尾上剛史 87 (241)

高血糖緊急症の輸液の考え方 症例1. 糖尿病性ケトアシドーシス (DKA)

症例2. 高浸透圧高血糖状態 (HHS)

● Advanced Lecture : 低血糖時のブドウ糖経静脈投与について

5. 急性脾炎の輸液増井伸高 98 (252)

1. 急性脾炎の輸液量は? 2. 急性脾炎の重症度は? 3. 輸液量の経時的評価 4. ACS

5. 急性脾炎の栄養管理

6. 腸閉塞の輸液山家 豊, 龍華章裕, 服部正嗣 106 (260)

腸閉塞の輸液の考え方 症例. 脱水を伴う術後癒着性イレウス

● Advanced Lecture : 腸閉塞の栄養管理

7. 急性腎障害の輸液 宮内隆政 114 (268)

急性腎障害の輸液の考え方 症例1. 下痢・脱水による腎前性腎不全
症例2. 前立腺肥大による腎後性腎不全 症例3. 薬剤による高カルシウム血症

8. 低ナトリウム血症の輸液 緒方聖友, 富永直人 123 (277)

低Na血症の輸液の考え方 症例. 悪心を伴う低Na血症

9. 高ナトリウム血症の輸液 志水英明 132 (286)

1. 高Na血症とは
2. 高Na血症の輸液の考え方 症例. 経口摂取困難による慢性高Na血症
● Advanced Lecture : 1. 尿生化学と尿浸透圧をどう使う?
2. 高Na血症と低Na血症をきたす疾患 3. 新たな高Na血症の原因薬剤? !
4. 高Na血症が改善しないときに確認すべきこと

10. 低カリウム血症の輸液 藤丸拓也 139 (293)

低カリウム血症の輸液の考え方 症例1. 飲酒後に全身脱力を認めた24歳女性
症例2. 飲酒後に四肢脱力を認めた22歳男性 ● Advanced Lecture : Gitelman症候群

11. 腫瘍崩壊症候群の輸液 未田善彦 147 (301)

腫瘍崩壊症候群の輸液の考え方 症例1. 輸液でコントロール可能な腫瘍崩壊症候群
症例2. 緊急透析となった腫瘍崩壊症候群
● Advanced Lecture : 乳酸アシドーシス (Warburg effect)

12. 周術期の輸液 谷井梨美 158 (312)

周術期の輸液の考え方 症例1. 予定手術の周術期輸液管理 症例2. 緊急手術の周術期輸液管理
● Advanced Lecture : 1. 輸液戦略の考え方変遷～liberal fluid therapy と restrictive fluid therapy～ 2. 尿量について

13. 心機能障害がある患者への輸液 正印恭子 168 (322)

心機能障害がある患者への輸液の考え方

14. 慢性腎臓病および末期腎不全患者への輸液 工藤祐樹, 座間味 亮 176 (330)

慢性腎臓病および末期腎不全患者の輸液の考え方 症例1. CKD患者における輸液
症例2. 末期腎不全患者（維持透析中）における輸液 ● Advanced Lecture

15. 肝硬変がある患者への輸液 中野弘康 184 (338)

1. 総論～肝硬変の理解～ 2. 背景肝と肝予備能の把握 3. 肝硬変における体液過剰の考え方
症例. アルコール性肝硬変

16. 高齢者の輸液 鈴木 航, 家 研也 193 (347)

高齢者の輸液の考え方 症例1. 肺炎で絶食補液管理となった高齢女性
症例2. 尿路感染症で入院となり, 食事と並行して点滴加療を行った高齢男性

17. 小児への輸液 佐藤泰征 202 (356)

1. 小児の体液量
2. 小児の脱水評価の考え方
3. 小児のは正輸液の考え方
4. 小児の維持輸液の考え方

18. 終末期の輸液 原田真梨子, 小杉和博 209 (363)
終末期の輸液の考え方 症例. がん末期 ● Advanced Lecture : 皮下注射に関して

第3章 研修医からよくある輸液の質問

1. ルートは何本必要？

単独投与が必要な薬剤や配合変化 前田幹広 217 (371)
1. 配合変化とは 2. ルートの選択に注意が必要な薬剤

2. リンゲル液に違いはあるの？

乳酸, 酢酸, 重炭酸リンゲル液の違い 藤田陽子 222 (376)
1. それぞれのバッファーはどう違うのか 2. 乳酸値が高い人に乳酸リンゲル液を使っても大丈夫なのか

3. 造影剤投与前後の輸液はどうする？ 藤田陽子 227 (381)

1. 造影剤腎症とは 2. そもそも造影剤腎症はどのようなときに予防が必要なのか？
3. 投与経路別でのリスク因子 4. CIN 前後の輸液療法

● 索引 232 (386)

● 執筆者一覧 236 (390)